

議員定数について徹底議論

定数削減議案を否決

令和3年3月定例会最終日、中島完一議員他4人から、津山市議会議員の定数を現在の28人から4人削減し、24人とすべきとの提案がありました。これに対し、提案に賛成し4人減らすべきとする意見と、提案に反対し現状のままで良いとの意見などが述べられました。まさに徹底的に議論が行われた後、採決を行った結果、議員定数を24人とする議案は、賛成13人、反対14人で、否決されました。



審議の様子は
こちらをご覧ください
(You tube につながります)

年	定数	理由等
昭和26年	30人	定数条例施行
平成9年	28人	市議会活性化促進審議会の報告を受け、協議した結果
平成17年	35人	合併特例法による定数特例によるため
平成18年	32人	合併し市域が広大なものとなり、隅々まで住民の声を市政に反映させるには、極端に削減することは現実的でないと判断したため
平成21年	28人	長引く景気低迷と特別委員会での精力的な調査、検討を進める中で4人削減し、28人とする審査結果報告があり、協議した結果
平成30年	28人	議会活性化調査特別委員会から「現状維持」とすべきとの報告 2人削減の議案が上程されるも、賛成少数で否決

※表記の年は基本的に定数に関する協議がなされた年を表示しています。



審査の様子をお伝えします

提案理由の説明

提案者 中島完一 議員
全国の市議会の人口別平均定数は5万人〜10万人の市で21人である。また、これまで数回にわたり定数削減の要望が市民からも出されている。このことなどを総合的に勘案し、定数を4人削減し、24人とすることを提案する。

何よりも 要望

賛成 村上祐二 議員
定数削減はひとえに市民からの議会に対する何よりももの要望である。また人口が10万人を割る中、議会はさらなる行財政改革の断行を市当局に求めている。我々議員も自ら身を切る態度を示すことが必要である。

女性の声を 市政に

反対 美見みち子 議員
削減すべきという市民の声が届いている一方、反対するという声も届けられている。また女性の声をより市政に反映させるには、女性議員が増えることも大切。削減してしまうと、その機会を狭めてしまうことになりかねない。

議会の あるべき姿

反対 秋久憲司 議員
人口別平均定数は一つの要素に過ぎない。市民が真に求めているのは、議会の活性化であり、参加しやすく、分かりやすい議会に向けてどうするべきか、あるべき議会の姿をしっかりと議論、イメージし、実現にむけた取り組みの中で定数についても議論すべきである。

市民の声 細やかに

反対 田口浩二 議員
津山市の合併前と現在の面積を比べると約2・7倍になっているにもかかわらず、定数は変わっていない。議員一人がカバーする面積は莫大なものになっており、多様性を確保し、市民の声を細やかに聴くためには現状の定数が適正である。

今決める 必要なし

反対 三浦ひらく 議員
定数24人には賛成。しかし議論が足りていないことは、意見が割れていることから明白で、今決めるのは時期尚早。全議員で議論を行い、市民に示しながら決めていく必要がある。次回の選挙までに徹底討論の上、結論を出すべき。

賛否の結果をお伝えします

賛成13人 反対14人
白色↓議案に賛成
青色↓議案に反対

表決を締め切りました

1 勝浦正樹	2 高橋寿治	3 村上祐二	4 広谷桂子	5 政岡大介	6 河村美典
7 三浦ひらく	8 中村聖二郎	9 安東伸昭	10 政岡哲弘	11 中島完一	12 原行則
13 村田隆男	14 金田稔久	15 田口浩二	16 秋久憲司	17 近藤吉一郎	18 津本辰己
19 松本義隆	20 美見みち子		22 竹内靖人	23 河本英敏	24 西野修平
25 竹内邦彦	26 吉田耕造	27 森岡和雄	28 岡田康弘		議長 岡安謙典

賛成 13 反対 14 表決総数 27

※岡安謙典議員は議長のため採決には加わりません。
※写真は議場内に表示される表決画面です。